

詩編 34 共同礼拝は個人的な礼拝を含む

皆さんは、コーヒーや紅茶が好きですか？ 私もコーヒーを毎日飲んでいて、家には何種類ものドリップパックが置いてあります。ですが正直言って味の違いはよくわかりません。どれを飲むかはモカとかマンデリンといった名前や、パッケージの色を見てその日の気分で決めていきます。娘の愛ちゃんに選んでもらうことも多いです。コーヒーのことは「知って」しますが、「味わって」いえないと言えるでしょう。「知っている」と「味わっている」ことの違いは为什么呢？ それは頭としての知識か、心で、個人的なものとしてわかっているかだと思います。今日の聖書箇所、**詩編 34 章**では、ダビデは主がいつくしみ深い方であること、我々を救ってくださる方であることを個人的なものとして「味わい」、そして集まり、共に賛美をしようと呼び掛けています。それでは見ていきましょう。

[1 私はあらゆるときに 主をほめたたえる。私の口には いつも主への賛美がある。2 私のたましいは主を誇る。貧しい者はそれを聞いて喜ぶ。 3 私とともに主をほめよ。一つになって 御名をあげよう。] これを読んで、「主は賛美に値する方、私はいつも主を賛美する」というごく一般的に「賛美します」といっていることだと思える方もいるかもしれませんが。しかしこれはダビデの個人的な主による救い、助けを元にした、個人的な賛美なのです。詩編 34 章は、ダビデを殺そうとするサウル王から逃げた先で、ダビデだとばれそうになった時、主からいただいた知恵と信仰でその難から逃れた時の賛美です。その様子は、第 1 サムエル記 21 章 10 節～22 章 1 節に書かれています。[10 ダビデはその日、ただちにサウルから逃れ、ガテの王アキシュのところに来た。 11 アキシュの家来たちはアキシュに言った。「この人は、かの地の王ダビデではありませんか。皆が踊りながら、『サウルは千を討ち、ダビデは万を討った』と言って歌っていたのは、この人のことではありませんか。」 12 ダビデは、このことばを気にして、ガテの王アキシュを非常に恐れた。 13 ダビデは彼らの前でおかしくなったかのようにふるまい、捕らえられて気が変になったふりをした。彼は門の扉に傷をつけたり、ひげによだれを垂らしたりした。 14 アキシュは家来たちに言った。「おい、おまえたちも見てるように、この男は気がふれている。なぜ、私のところに連れて来たのか。 15 私のところに気がふれた者が不足しているともいうのか。私の前で気がふれているのを見せるために、この男を連れて来るとは。この男を私の家に入れようともいうのか。」 22:1 ダビデはそこを去って、アドラムの洞穴に避難した。] ダビデは、主によって救われ力づけられることを、この自身の体験をもって確信し、具体的に賛美しているのです。4-7 節。[4 私が主を求めると 主は答え すべての恐怖から 私を救い出してくださった。 5 主を仰ぎ見ると 彼らは輝いた。彼らの顔は辱められることがない。 6 この苦しむ者が呼ぶと 主は聞かれ すべての苦難から救ってくださった。 7 主の使いは 主を恐れる者の周りに陣を張り 彼らを助け出される。] この聖句、最初は「私」とダビデ限定で始まっていますが、その後は「彼ら」「主を恐れる者」という語がつかわれています。つまりダビデ限定の救いに対する賛美ではありません。また最後の 7 節は「主は彼らを助け出される」と現在形になっていることにも注目してください。つまりダビデの賛美は第 1 サムエル記 21 章での困難から救ってくださったという特定の助けに対する感謝ではなく、主を恐れるものをいつも助けてくださるといふ主のすばらしさ、いつくしみ深い方であるという遍在の、全ての人に適用される主のご性質そのものへの賛美なのです。

先週、VBS がありました。主が良い方であると知っている私たちは、子供たちに神様の事を知ってほしいからです。私たちは証をします。主が私たち一人一人にしてくださった救いの御業を、まだそれを知らない人に伝え、同じように救いを受け取ってほしいからです。ダビデも同じように、自分が個人的に経験した主がいつくしみ深い方であるということ、他の人にも経験してほしいと言っています。8 節。[8 味わい 見つめよ。主がいつくしみ深い方であることを。幸いなことよ 主に身を避ける人は。] ダビデはここで「味わう」という単語を使っています。冒頭、コーヒーの例を挙げたように、主がどのような方であるかということを知識として知っているだけではなく、心で、個人的なこととしてわかることを薦めているのです。聖書解説を読んだり、聖句を暗記したりすれば知識は増えるかもしれませんが。しかし聖書と神についての知識量だけなら、私たちは、サタ

ソのそれにかないません。では、どうすれば「味わう」ことができるでしょうか。ダビデはイスラエルの民に、「主を恐れることを教えよう」と続けます。11節～14節です [11 来なさい。子たちよ 私に聞きなさい。主を恐れることを教えよう。12 いのちを喜びとする人はだれか。幸せを見ようと 日数の多いことを愛する人は。13 あなたの舌に悪口を言わせず 唇に欺きを語らせるな。14 悪を離れて 善を行い 平和を求め それを追い続けよ。] 知識を詰め込むのではなく、主を恐れることで主のすばらしさ、神の御業と救いは個人的な体験としてわかるのです。つまり「味わう」です。少し戻りますが、ダビデは3節で「一つになって御名をあがめよう」と呼びかけています。主のすばらしさを味わって、個人的な賛美を持ち寄って共に御名をあがめよう、賛美しようと言っているのです。「公同礼拝は個人的な礼拝を含む」とは、こういうことです。

今ダビデは、イスラエルの民にどうすれば主がいつくしみ深い方であることを味わうことができるのかという、民の側での行動の呼びかけをしました。しかし主は、私たちが何かしたからそのお返しをするという、ビジネスライクな取引で救いをくださるのではありません。15節～18節。 [15 主の目は 正しい人たちの上にあり 主の耳は 彼らの叫びに傾けられる。16 主の御顔は 悪をなす者どもに敵対し 主は彼らの記憶を地から消し去られる。17 苦しむ者が叫ぶと 主は聞かれ そのすべての苦難から救い出してくださる。18 主は心の打ち砕かれた者の近くにおられ 霊の砕かれた者を救われる。] その大きな愛ゆえに、常に私たちのそばにいてくださり、耳と目を私たちに傾け、苦しみから救ってくださるのです。その愛は、イスラエルの民だけに向けられているわけではありません。今、この2024年に生きる私たちにも向けられている愛です。「すべての苦難から救い出してくださる」ダビデはそう言っています。皆さん様々な苦難があると思います。人間関係、仕事、健康…私もいろいろあります。しかし私たちの最も大きな苦難、最優先でなんとかしないといけない苦難は何でしょうか？ そう、私たちの罪、主への背きです。主は、私たちの罪の苦しみの叫びに耳を傾けてくださいます。同時に、罪をそのままにして悪を行う者を裁かれます。その裁きは「彼らの記憶を地から消し去られる」とあるように永遠の裁きであり、絶対です。例外はありません。

では、そのように厳しく深刻な罪の問題に対して私たちにできる解決策があるでしょうか。私たちにできることはありません。救い主、主イエス・キリストによる贖い、つまり福音だけがその解決策です。詩編34章のダビデの賛美は彼が経験した個人的な助けへの賛美から始まりました。この賛美は今述べた、救い主イエスキリストによる贖いの御業への賛美で終わります。 [19 正しい人には苦しみが多い。しかし 主はそのすべてから救い出してくださる。20 主は彼の骨をことごとく守り その一つさえ 折られることはない。21 悪は悪しき者を殺し 正しい人を憎む者は責めを負う。22 主は そのしもべのたましいを贖い出される。主に身を避ける人は だれも責めを負わない。] これが詩編34章、ダビデの賛美の結びです。ダビデは、主を恐れ、主イエス・キリストの十字架の贖いと救いの御業への感謝を個人的な体験として共に持ち寄り、一緒に賛美しよう、礼拝しようと言っているのです。このことは、ダビデだけが言っているではありません。エペソ人への手紙5章19節～21節で使徒パウロも同じことを言っています。 [19 詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。20 いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。21 キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。] 詩編が書かれた年代とエペソ人への手紙が書かれた年代は大きく違います。しかし、主は不偏に存在する神です。いつの時代でも、主は私たちを愛し、目と耳を傾けられています。いつの時代でも、私たちが主を恐れ、主に近づき、救いを個人的なものとして受け取ることを望まれています。

あなたは、イエスによる魂の贖い、罪からの救いを、自分個人ものとして体験していますか？ その体験と感謝を持ち寄って、共に主を礼拝し、賛美をしましょう。もしまだでしたら、ぜひそれを祈り求めてください。ベン牧師、ヒロ牧師、グラント牧師、執事の皆さんや私のような聖書勉強会のリーダーたちとそのことを話してください。そして、主イエス・キリストによる罪からの救いを受け取り、その個人的な体験と感謝をもって、共に主を礼拝しましょう。祈りましょう。

Psalm 34 Corporate worship involves personal worship

Do you like coffee? Or do you prefer tea? I drink coffee every day. I have several flavours of coffee at home. But I can't really tell the difference in taste. I choose which one to drink based on a label, like Mocha or Mandheling or the colour of the package, depending on my mood during the day. I sometimes even ask my daughter Ai to choose. You could say I "know" about coffee, but you cannot say I am "tasting" it. What is the difference between "knowing" and "tasting"? The difference is whether you know something as head knowledge or by heart as a personal experience. In today's passage, Psalm 34, David invites us to personally "taste" (or experience) the fact that the Lord is the One who is gracious and the One who saves us, and to praise Him together. So, let's take a look at the passage.

¹ I will bless the Lord at all times; his praise shall continually be in my mouth. ² My soul makes its boast in the Lord; let the humble hear and be glad. ³ Oh, magnify the Lord with me, and let us exalt his name together! Reading this, you might think this is a general call for worship, like saying, "The Lord is worthy of our praises; I will always praise the Lord." But this is David's personal praise based on his personal experience with the Lord. David wrote Psalm 34 when he escaped King Saul, who tried to kill him. When he was about to be discovered by Saul, the Lord provided him with wisdom and faith, and he was able to escape from Saul. This is depicted in 1 Samuel 21:10 to 22:1. ¹⁰ And David rose and fled that day from Saul and went to Achish the king of Gath. ¹¹ And the servants of Achish said to him, "Is not this David the king of the land? Did they not sing to one another of him in dances, 'Saul has struck down his thousands, and David his ten thousands'?" ¹² And David took these words to heart and was much afraid of Achish the king of Gath. ¹³ So he changed his behavior before them and pretended to be insane in their hands and made marks on the doors of the gate and let his spittle run down his beard. ¹⁴ Then Achish said to his servants, "Behold, you see the man is mad. Why then have you brought him to me?" ¹⁵ Do I lack madmen, that you have brought this fellow to behave as a madman in my presence? Shall this fellow come into my house?" **22:1** David departed from there and escaped to the cave of Adullam. David was led to praise the Lord because of this personal experience, which convinced him that he was saved and strengthened by the Lord. (Let's continue with verses 4-7.) ⁴ I sought the Lord, and he answered me and delivered me from all my fears. ⁵ Those who look to him are radiant, and their faces shall never be ashamed. ⁶ This poor man cried, and the Lord heard him and saved him out of all his troubles. ⁷ The angel of the Lord encamps around those who fear him, and delivers them. Verse 4 begins with "I", which refers only to David, but later in the verse, it uses plural forms such as "those who look at him" and "those who fear him". In other words, it is not just a praise for David's personal salvation (but a praise for the salvation of many). Further, verse 7 is written in the present tense: "The Lord delivers them", (not the past tense.) This indicates that David's praises are not just praises for the specific support that he received in 1 Samuel 21, but praises for the Lord's omnipresent attributes, such as His wonderfulness and His mercifulness, that He always supports those who fear Him.

Last week, we had VBS. We do VBS every year because we want the children in Yokohama to know God. During VBS, we give testimony. We share the wonderful news of Jesus Christ with those who do not yet know Him so that they can experience God. As in the VBS, David wants others to experience the goodness of God as he experienced God himself. Verse 8 says ⁸ Oh, taste and see that the Lord is good! Blessed is the man who takes refuge in him! David uses the term "taste" here. As I mentioned in the example of coffee at the beginning, he is saying that knowing "Who the Lord is" as head knowledge is not enough, but we need to experience Him with our hearts. We can read Bible commentaries or memorise Scripture to accumulate our bible knowledge. But if it is only about the bible knowledge, we can never beat Satan. So how can we "taste" God? David goes on to tell the Israelites, "I will teach you the fear of the Lord". Let's read verses 11 to 14. ¹¹ Come, O children, listen to me; I will teach you the fear of the Lord. ¹² What man is there who desires life and loves many days, that he may see good? ¹³ Keep your tongue from evil and your lips from speaking deceit. ¹⁴ Turn away from evil and do good; seek peace and pursue it. We cannot

experience the wonder of God's work and salvation by cramming knowledge; instead, we can only do this by fearing the Lord. In other words, we “taste” the Lord. Going back to verse 3, David calls us to “praise His name in unity” in verse 3. He is saying, “let us exalt his name together!” He is calling us to taste the goodness of the Lord and to praise His name together by bringing our personal praises to Him. This is what it means when we say, “corporate worship includes personal worship.”

David now moves on to call for action on the part of the people of Israel so that they can “taste” the goodness of the Lord. The action that David is calling for is not like a transaction in the market or giving something in return for what God has done for us. Let’s read verses 15 to 18. ¹⁵The eyes of the Lord are toward the righteous and his ears toward their cry. ¹⁶The face of the Lord is against those who do evil, to cut off the memory of them from the earth. ¹⁷When the righteous cry for help, the Lord hears and delivers them out of all their troubles. ¹⁸The Lord is near to the brokenhearted and saves the crushed in spirit. Because of His love, our Lord is always with us. He is listening to us, watching over us and supporting us in the midst of our suffering. His love is not only directed to the people of Israel. It is also directed to us who live in 2024. David also says, “The Lord … delivers them out of all their troubles.” I am sure everyone here faces various troubles in this world. Our suffering comes in different forms, such as personal relationships, work, or health. I face many troubles myself. But what is the most significant trouble in our lives that we must prioritise and put the most effort into solving? Yes, that is our sin, our rebellion against the Lord. The Lord hears the cries of our suffering caused by our sins. At the same time, He judges those who do evil as they do not deal with the sin problem. His judgment is eternal as it says, “to cut off the memory of them from the earth.” No one can escape this judgment.

So, what is the solution to such a severe and serious sin problem? There is nothing we can do. The only solution is redemption through our Savior, Jesus Christ. Psalm 34 starts with David praising the personal support he experienced. Psalm 34 ends with David praising the redemptive work of our Savior, Jesus Christ. ¹⁹Many are the afflictions of the righteous, but the Lord delivers him out of them all. ²⁰He keeps all his bones; not one of them is broken. ²¹Affliction will slay the wicked, and those who hate the righteous will be condemned. ²²The Lord redeems the life of his servants; none of those who take refuge in him will be condemned. This is the conclusion of David's praise in Psalm 34. David calls us to fear the Lord, praise and worship together by bringing our personal experience and gratitude for the redemption and salvation work that our Lord Jesus Christ has done on the cross. David isn't the only one saying this. Apostle Paul tells the same thing in Ephesians 5:19-21. ¹⁹addressing one another in psalms and hymns and spiritual songs, singing and making melody to the Lord with your heart, ²⁰giving thanks always and for everything to God the Father in the name of our Lord Jesus Christ, ²¹submitting to one another out of reverence for Christ. The context in which these two passages were written are very different. But our Lord is omnipresent. In every age, the Lord loves us and has His eyes and ears upon us. In every age, His desire is for us to fear Him, draw near to Him, and receive His salvation as a personal gift.

Have you personally experienced redemption and salvation from sin through Jesus Christ? If you have, please bring your personal experiences and thanksgiving to worship and praise the Lord together. If you have not yet experienced it, please pray and seek it. If you have any questions, please come to Pastor Ben, Pastor Hiro, Pastor Grant, the deacons, and Bible study leaders like me. Then, let's worship the Lord with our personal experience and thanksgiving for receiving salvation through the Lord Jesus Christ. Let us pray.